

佐賀県 追補

著者	上赤 博文
雑誌名	植物地理・分類研究
巻	60
号	2
ページ	42
発行年	2013-03-01
URL	http://doi.org/10.24517/00053530



41. 佐賀県 追補

上赤博文 (〒840-0806 佐賀市神園3-18-15 西九州大学 kamiaka.hirohumi@wine.plala.or.jp)

(A) 植物誌

『佐賀県植物目録1981』が1982年に出版されてから30年が経過した。その間に400種以上の新分布植物が記録されており、佐賀植物友の会が創設50周年を数年後に控えていることから、改訂版作成に取りかかることになった。2012年6月に準備委員会が発足したが、具体的な発行スケジュールは未定である。佐賀県立宇宙科学館に収蔵されている標本の点検と個人で所有している標本の整理からスタートさせた。標本の確認後、本格的な調査・採集の作業に入ることになる。

一般向けに書かれた図書に、貞松光男(文)・金子剛(絵)の『方言で味わう 佐賀の植物』(佐賀新聞社, 2011)がある。見開きで1種類の植物が示され、右頁に植物タイトル(方言)と植物や方言の解説が、左頁に金子画伯による植物画が示されている。佐賀植物友の会は2007年に『佐賀の植物方言と民俗―増補改訂版―』を発行している。友の会による発行・編集となっているが、実質的に貞松光男氏による編集である。

(B) 研究機関

佐賀植物友の会は2003年以降、機関誌『佐賀の植物』の38～48号を発行した。佐賀自然史研究会は2003年以降、会誌『佐賀自然史研究』の9～18号を発行した。

(C) 標本

佐賀植物友の会は会員等が所有する植物標本を順次整理し、武雄市の佐賀県立宇宙科学館に収蔵している。2002年以降の分として、貞松光男氏の標本(約4,400点)、佐賀県立佐賀北高校生物部の標本(約3,300点)、佐賀県自然環境保全地域である檜原湿原の標本(約130点)が整理されている。

(D) レッドデータブック

2003年に『佐賀県レッドリスト2003年版』(佐賀県環境生活局)が、2011年3月に、『レッドデータブックさが2010植物編』(佐賀県希少野生動植物調査検討会 植物分科会編集, 佐賀県くらし環境本部有明海再生・自然環境課発行)が発行された。

レッドリスト植物を意識して調査するようになったためか、この10年間で新知見が蓄積し、2010植物編では、かなりのカテゴリー変更が行われている。例えば、種子植物の絶滅種については、2000年版は27種で2010年版では28種と数字だけを見ると1種のみ増加であるが、中身をよく見ると、絶滅種から絶滅危惧Ⅰ類種に変更されたものが6種

で、逆に絶滅危惧Ⅰ類種から絶滅種に変更されたものが7種ある。このような実態を踏まえた上で数字を比べると、絶滅危惧Ⅰ類種120種→154種、絶滅危惧Ⅱ類種116種→110種、準絶滅危惧種88種→103種、情報不足種9種→8種となっており、合計で360種→403種である。合計で43種増加しているが、今回の見直しでランク外にされた種が17種あるので、実質は60種増加したことになる。



図 レッドデータブックさが2010植物編

(E) 植物群落

2003年以降は植物群落としてまとめたものは発行されていない。